

# 地方公営企業の抜本的な改革等の取組状況(令和3年3月31日時点)

団体名	業種名	事業名	施設名
新発田市	下水道事業	農業集落排水施設	—

## 実施状況

抜本的な改革の取組							現行の経営体制を継続
事業廃止	民営化・民間譲渡	広域化等	民間活用				
			指定管理者制度	包括的民間委託	PPP/PFI方式の活用	地方独立行政法人への移行	
		●					

## 抜本的な改革の取組状況

取組事項		(下水道事業)広域化等							
実施済	●	(実施類型)		(取組の概要及び効果)		(実施(予定)時期)			
		汚水処理施設の統廃合 ●		農排(福島・米倉)地区の汚水について、流域関連公共下水道へ接続を実施(H29年度・R元年度)し、農排処理場年間運営経費12百万円×2箇所の削減となった。※試算では米倉地区の公共下水道への接続工事費は113百万円、既存農排処理施設の更新工事費は77百万円であった。羽津地区の汚水を三光・石喜地区農業集落排水に接続(H28年度)し、処理場建設費削減、既処理区への接続管渠費増となり総事業費で112百万円の削減、年間運営経費12百万円の削減となった。		平成 29 年		2 月 1 日	
		処理場廃止あり ●		処理場廃止なし					
		公共下水・流域下水の統合		公共下水同士の統合		農業排水・公共下水との統合 ●		特環施設と公共下水との結合 ●	
実施予定		汚泥処理の共同化		維持管理・事務の共同化		最適な汚水処理施設の選択(最適化) ●			
検討中	→	(取組の概要)			(検討状況・課題)				